

P 6 3 「教科書 P 6 3 を読んでください」 (ただ反比例の変化の割合はやらなくてもいい)

反比例  $y = \frac{6}{x}$  の変化の様子を振り返りましょう。

x	-3	-2	-1	0	1	2	3
y	-2	-3	-6	×	6	3	2

○ x の値が 1 から 2 まで 1 増えると y の値は 6 から 3 まで -3 増える

$$\frac{-3}{1} = -3$$

x	1	2
y	6	3

変化の割合 =

○ x の値が 2 から 3 まで 1 増えると y の値は 3 から 2 まで -1 増える

x	2	3
y	3	2

変化の割合 =  $\frac{-1}{1} = -1$

◎ 反比例では、変化の割合は一定ではありません。

練習問題 (やや難しい・・・いっしょにやったほうがいいかも)

1. (1)  $y = 7x + 2$  変化の割合は 7

x の増加量が 1 なら y の増加量はその 7 倍で 7  
x が 1 増えると y は 7 増える 増加

(2)  $y = -3x + 4$

x が 1 増えると y は -3 増える → 3 減る 減少

(3)  $y = \frac{1}{5}x - 6$  x が 1 増えると y は  $\frac{1}{5}$  増える 増加

2. 一次関数  $y = -6x - 5$

変化の割合 =  $\frac{y \text{ の増加量}}{x \text{ の増加量}}$  x の増加量の -6 倍  
= -6 である。

y の増加量は

(1)  $x$  の増加量が 1 のとき  $y$  の増加量は  $1 \times (-6) = -6$

(2)  $x$  の増加量が 5 のとき  $y$  の増加量は  $5 \times (-6) = -30$

3. 一次関数  $y = -\frac{3}{4}x + 1$

$y$  の増加量は  $x$  の増加量の  $-\frac{3}{4}$  倍である。

(1)  $x$  の増加量が 1 のとき  $y$  の増加量はその  $1 \times \left(-\frac{3}{4}\right) = -\frac{3}{4}$

(2)  $x$  の増加量が 4 のとき  $y$  の増加量は  $4 \times \left(-\frac{3}{4}\right) = -3$

◎変化の割合を使うと  $y$  の増加量はかけ算で求められる。